

実社会との接点を重視した 課題解決型学習プログラムに係る 実践研究

大阪府教育委員会
実践校：富田林市立第一中学校

「社会参画意識」の現状

肯定的回答 の割合	令和3年度		令和4年度	
	全国平均	大阪府平均	全国平均	大阪府平均
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。	43.8%	39.6%	40.7%	36.8%
授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。	81.0%	78.2%	79.2%	76.1%

(令和3年度・令和4年度全国学力・学習状況調査 生徒質問紙)

【研究主題】

「すべてのいのちが輝くアイデア」
—自分たちのアイデアを実現し、
—一人も取り残さない未来社会を創る—

**地域の課題を自分事として捉え、その解決に向けて
他者と協働しながら探究的な学習を展開する実践に取り組む。**

校内研究推進会議

- ・ 学習プログラム・カリキュラムの検討
- ・ NPO・企業等外部機関との連携
- ・ 取り組みの効果検証

①地域や子どもの実態に合わせた学習プログラムの実践

(カリキュラム編成や学習内容の工夫、NPO・企業等の
ゲストティーチャーの活用等)

②課題解決に向けた生徒の主体的な取り組みの実践

(学習プログラムの実践過程で考えた
「課題解決に向けた取り組みアイデア」を具現化するため、
生徒会等が中心となり、学校全体で活動)

③フォーラムにて成果の発表

SDGsについての知識を得る

社会問題をSDGsの観点で考察し、生徒自身が、自らの関心で課題を設定して、解決への見通しをもつ。

【ワークシート】 (社会科)

NO28 世界の諸地域～ヨーロッパ州～ ⑤持続可能な社会づくり 教科書p76～77

めあて ヨーロッパの環境問題と対策を説明できる

ヨーロッパは世界でも早い時期から近代工業が発達した → 19世紀から環境問題が発生
→ヨーロッパでは環境問題に対する関心が高い。

①():工場や自動車からの有害物質が原因。
→森林破壊、湖や河川の水質が悪化。

②():地球上で発生した二酸化炭素などの温室効果ガスにより、気温が上がるなどの気候変化を起こすこと。
→二酸化炭素などの温室効果ガスを減らす対策
(例)オランダ:自動車から自転車の利用。
リサイクルの徹底→廃棄物の排出量を減らす。

◇発電方式の見直し

③()発電:石炭・石油などの化石燃料を利用する発電方法。 → 発電時に多くのCO₂を排出。
④()発電:ウランを燃料とする発電方法。CO₂の排出量が少ない。
1986年 チェルノブイリ原発事故 →放射線物質がヨーロッパの広い範囲に飛び散る。
2011年 福島原発事故
→安全性に課題。

CO₂をおさえるために、⑤()による発電の導入が進められている。
⑥()発電 ⑦()発電

⑧()発電:農作物を生産するときにたもみ殻や廃木材、家畜の糞尿を燃料とする発電方法。

【教育プログラム】 (総合的な学習の時間)

01 生活環境の持続可能性

ある都市の周辺部には、雨風をしのぐだけの家屋に、多くの人が住んでいます。
安定した仕事に就くことは難しく、食料不足や生活の悪化が大きな問題になっています。

世界で多くのいのちが輝くことができないのは、なぜでしょう。
理由を考えてみましょう。

●自分の考え

「輝くことができないのち」があるのなら、たとえ自分が輝いていたとしても、「すべてのいのちが輝く」とはいえない。

02 「すべての」いのち輝く未来社会のためのSDGs

貧困、紛争、テロ、気候変動、資源の枯渇など世界にはまだ多くの課題が残されており、いのちが輝くことができない人たちがいます。
だからこそ、「誰一人取り残さない」世界を創るという世界共通の目標(ゴール)、SDGsの達成が不可欠なのです。

持続可能な開発目標
SDGs(Sustainable Development Goals)

SDGsで目標としているのは、発展途上国の人々にはとても重要な目標なんだね!

SDGsで目標としているのは、発展途上国の人々にはとても重要な目標なんだね!



実社会をリサーチする

課題を見いだすため、様々な方法で情報を協働して収集する。

【グローバルな観点 ローカルな観点 の両面で】



地域課題の聞き取り
(総合的な学習の時間)



タブレット端末の活用
(社会科)



反差別集会で学んだことを報告
(総合的な学習の時間)



反差別集会でのグループ協議
(特別活動：生徒会活動)

SDGs達成をめざすアイデアを考える

課題について考察し、妥当性、効果、実現可能性などの観点から、グループメンバーや教員と議論しながら、効果的な課題解決策を構想する。
(総合的な学習の時間)

● “すべての” いのち輝くSDGsアイデア検討

授業3で考えた、自分たちなりのSDGsアイデアを、実現性の高いものにしていきましょう。

STEP1 実現したいアイデア

●自分たちなりのアイデアが実現している姿

どのような“すべての”いのち輝く未来社会を実現したいか、思い描くことが大切です。

●その実現のために必要なこと

STEP2 自分たちにできること

中学生だからこそできること(いかに「強み」はないかな?)

やはり、自分たちだけでアイデアを実現するのは難しそうだな…

STEP3 協力してもらう必要があること (どんな人たちや企業・団体に、どんなことを協力してもらいたいか?)

協力をお願いするのは、そこが「強み」である人たちだといいですね。

実現の取組をしている人たちは、どんなふうに「協力」しているのか調べてみましょう!

地域の人権集会で自分達のアイデアを発信!

人権メッセージ

「ひともしき じぶんもすき」

仲間とともに・・・

SDGALS

富田林市立第一中学校 77期生

各班で考えたSDGsの取り組み

企業団体とアイデアミーティングに向けてがんばっています

このポスターは、富田林市立第一中学校77期生がSDGsの取り組みをテーマに作成したものです。中央には「ひともしき じぶんもすき」というメッセージが掲げられており、その下に各班のアイデアが紹介されています。右側にはSDGsのアイコンが並び、さらに「富田林市立第一中学校 77期生」と「各班で考えたSDGsの取り組み」という文字が縦書きで表示されています。最下には「企業団体とアイデアミーティングに向けてがんばっています」というメッセージが添えられています。

アイデア実現に向けて、企業・団体等と意見交流をする

アイデアミーティングで、構想した解決策について、地域人材や企業の方々から実現の可能性等について意見をいただき、生徒が考えたアイデアやプレゼンの内容をブラッシュアップする。（総合的な学習の時間）

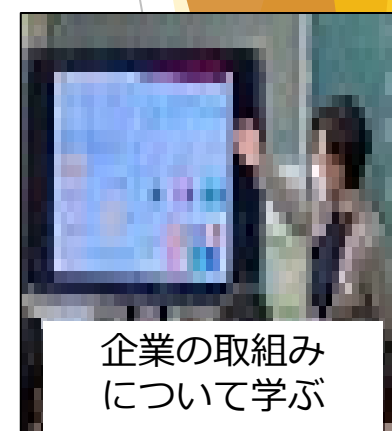
【アイデアミーティングシート】

【アイデアミーティングの様子】

The screenshot shows a digital form titled 'アイデアミーティングシート' (Idea Meeting Sheet) with fields for '中学校' (Middle School) and '年' (Year). It includes several sections for students to fill out:

- ミーティングをする企業・団体 (Company/Organization for the meeting)
- 自分たちが設定した課題（解決しなければと強く思う問題） (Topic set by students)
- 自分たちなりの「すべての」のち障くSDGsアイデア (Students' own SDG ideas)
- アイデアの具体的な内容 (Specific content of the idea)
- 自分たちなりのアイデアで輝かせることができる【のち】 (How to shine with their own ideas)
- 関連するゴール (Related goals) with icons for various SDGs.
- 協力してもらいたい相手（強みをもっている相手）と協力してほしい内容 (Desired partners and content)
- アイデアミーティングで相談したいこと (Things to consult about)

At the bottom, it says '当日、よろしくお願ひします！' (We look forward to the day!).



アイデア（すべてのいのちが輝くアイデア） 実現のための提案をプレゼンする

アイデアをプレゼンし合い、生徒同士の相互評価によって校内で一番評価の高かったものを選出する。選出されたアイデアは大阪府主催の「フォーラム」において発表し、府内に発信する。（総合的な学習の時間）

【一中EXPO（校内コンテスト）の様子】 【一中EXPOで選ばれたアイデア】





各グループによる
アイデアの発表

代表チーム

「着たい服をあなたに」

富田林市立第一中学校 1年3組

沖島 坂田 佐々木
田中 築山 山下



企業の方から講評

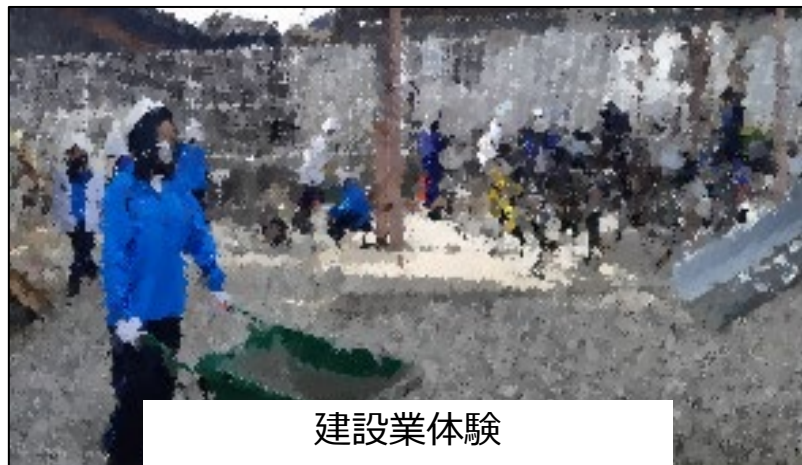
地域の課題解決につなげる

昨年度の「実社会をリサーチする」学習活動によって発見した地域の課題について、より深く聞き取り学習を実施（総合的な学習の時間）



地域のプロに学ぶ

社会のために働くことの意味、仕事の「やりがい」を知る（総合的な学習の時間）



建設業体験



美容師体験



トリマー体験



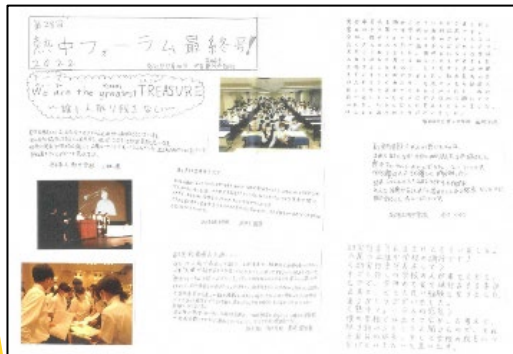
パイロットの方の講話

他校の生徒と取組みを交流する

大阪府人権教育研究協議会「熱中フォーラム」への参加
(特別活動：生徒会活動)

【自校で熱中フォーラムでの学びを全校生徒にフィードバック】

【熱中フォーラム参加の様子】



2年目の社会科の授業場面

日本の諸地域の学習をとおして、地域課題の独自性を知る

大阪府教育委員会

実践校：富田林市立第一中学校



【研究主題】

「すべてのいのちが輝くアイデア」－自分たちのアイデアを実現し、一人も取り残さない未来社会を創る－

【開発するプログラムの概要】

SDGsの「誰一人取り残さない」という理念について知り、身近な社会的事象から課題を見だし、世界的観点に結び付けて課題の解決に向けたアイデアを考え、企業・NPO等からのアドバイスを生かしながら、身近な地域での行動につなげていく探究的な学習プログラム

実践内容 ※開発するプログラムから一部抜粋

<中学校・2年生> 社会科（地理的分野）

【単元名】「日本の地域的特色と地域区分」(C(2))

【主な単元の目標】

- ・日本の地域的特色と地域区分を理解する。
- ・日本の地域的特色を多面的・多角的に考察し、課題解決に向けて考えたなどを表現する力を身に付ける。
- ・日本の地域的特色と地域区分について、よりよい社会の実現に向けて見出した課題を主体的に追究しようとする態度を養う。

【学習課題】地形や気候、人口などの地域差に着目すると、自身の地域の様々な課題がみえてくる。「誰一人取り残さない」という観点でそれらの課題の解決につなげるために、自分たちに何が出来るかを考える。

時間	主な学習内容		
	社会科（地理的分野）	関連付けた他教科等	
1-3	日本の地形・日本の国土の特色	理科「生きている地球」	
4	日本の気候の特色	理科「日本の気象」	
5/6	自然災害と防災への取組	保健「自然災害を知る」 総合的な学習の時間 「地域学習」 (福祉・防災等)	
7/8	日本の人口の特色	国語「モアイは語る」 特別活動「自治的な活動」 (無料塾・子ども食堂)	
9	日本の資源・エネルギーの特色	技術「エネルギー変換」	総合的な学習の時間 「SDGsについて」 「地域学習」 (地域の良さや課題等)
10	日本の産業の特色		
11	交通・通信による結びつき	技術「情報の技術」	

※単元名の（ ）内は学習指導要領の内容の該当番号

【実践例】 ※社会科（地理的分野）「日本の地域的特色と地域区分」 第11/11時 交通・通信による結びつき

授業の概要

<概要>

- ・交通・通信の発達とは、地域同士の結びつきを強めていることや、その結びつきには偏りがみられることを理解する。
- ・SDGsの理念の観点から、交通・通信の発達はどのような課題解決につながるのか。この点について、自分たちの地域における課題に着目し考察する学習を通じて、主体的に解決しようとする態度の育成につなげる。

<指導上の工夫>

○地域や社会生活における具体的な課題等を自分との関わりの中で捉えられるようにするための指導上の工夫

- ・交通の発達については、高速道路が整備されていないという自分たちの地域課題と結びつけて考えさせることで、偏りを実感できるようにした。
- ・通信の発達については、スマホ等の情報端末から多くの情報を得られることや、世界中とつながることができる等の利便性がある一方、通信網の整備状況によって情報格差があることに着目できるようにした。

○社会科（地理的分野）と他教科等との連携

・先行して行った総合的な学習の時間「SDGsについて」の学習で、社会の課題を解決するアイデアを考えたことにより、交通・通信の発達により解決できる地域課題について多面的に見出し、その解決に向けて主体的に関わろうとする態度につなげることができた。

専門家や関係諸機関等との連携・協働

生徒が地域の課題を見出し、その課題解決のため、主体的に取り組む自治的な活動として展開できるよう、富田林市社会福祉協議会や富田林市人権文化センター、市役所の関係課とも連携・協働しながら、地域における実践内容を含めた学習プログラムを開発している。

効果等

- ◆「誰一人取り残さない」というSDGsの理念に関連させて捉えることができた。
 - ◆地域課題に着目し、「自分たちに何が出来るか」を考えることにより、課題解決をめざす自治的な活動に対する主体性を高めることができた。
- ⇒「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」R4肯定的回答71.5%(R3 40.4%)



地域の課題解決のための自治的な活動を決定！

(特別活動：自治的な活動)

人権サークル、学年議会を中心に今年度の取組みについて考える

クラスの子どもたちの意見から

- ・ 障がい理解学習
- ・ 子どもたちの環境、状況
- ・ LGBTQ
- ・ 国際理解学習



- ・ **小学生を対象にした子ども食堂と無料塾**
- ・ **LGBTQをより深く理解するための啓発活動**

自治的な活動に向けた資金調達

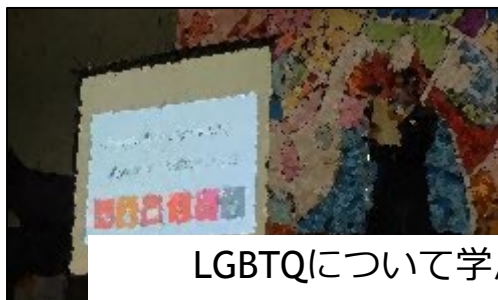
地域教育協議会でのALLYバッチの販売やバザーの実施
(特別活動：自治的な活動) (総合的な学習の時間)



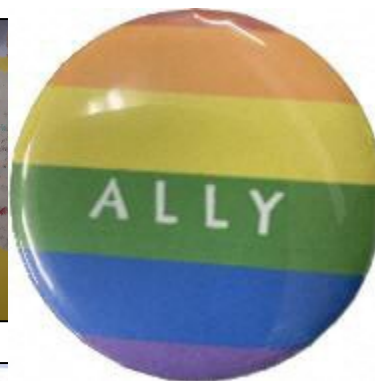
ALLYバッチのデザイン考案



ALLYバッチの作成



LGBTQについて学んだことを報告



バザーで地域や家庭から提供してもらった物を販売

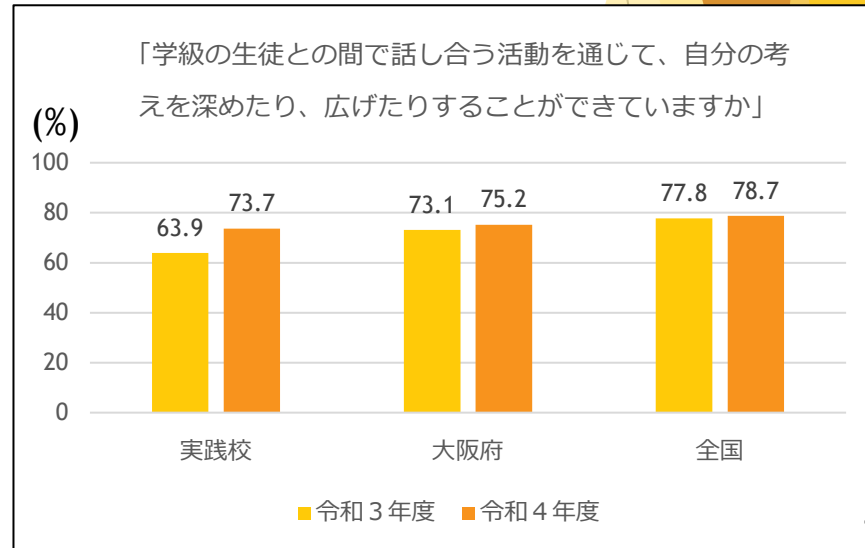
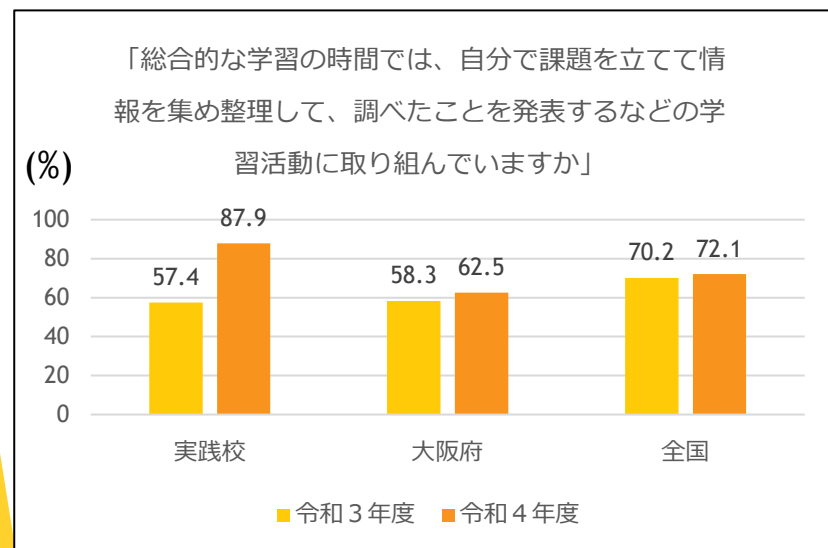
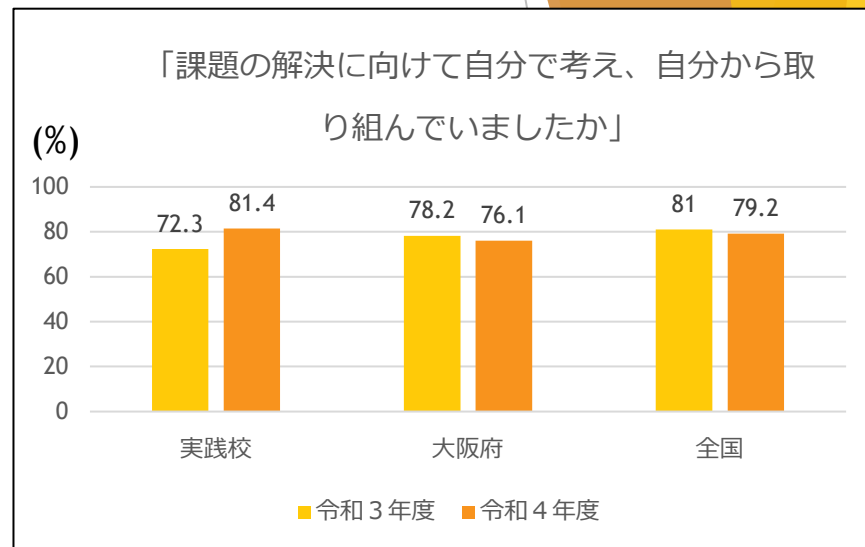
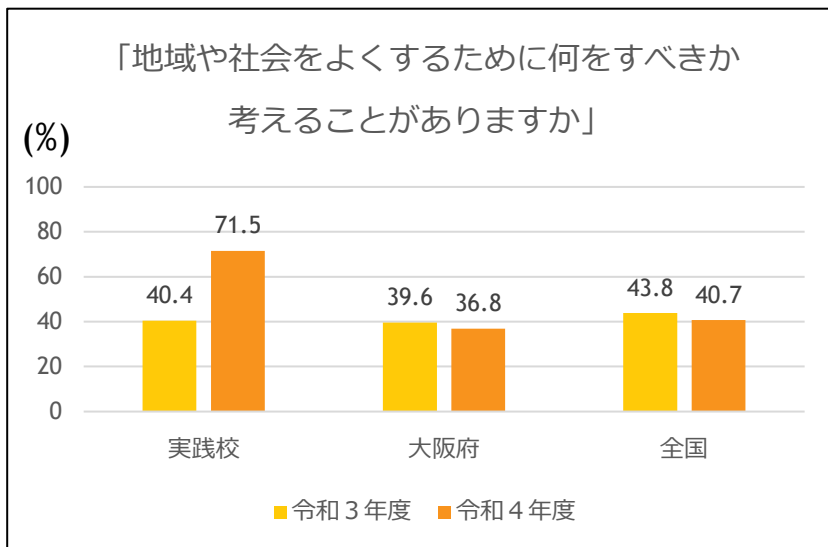


ALLYバッチの販売

成果（生徒の変容）

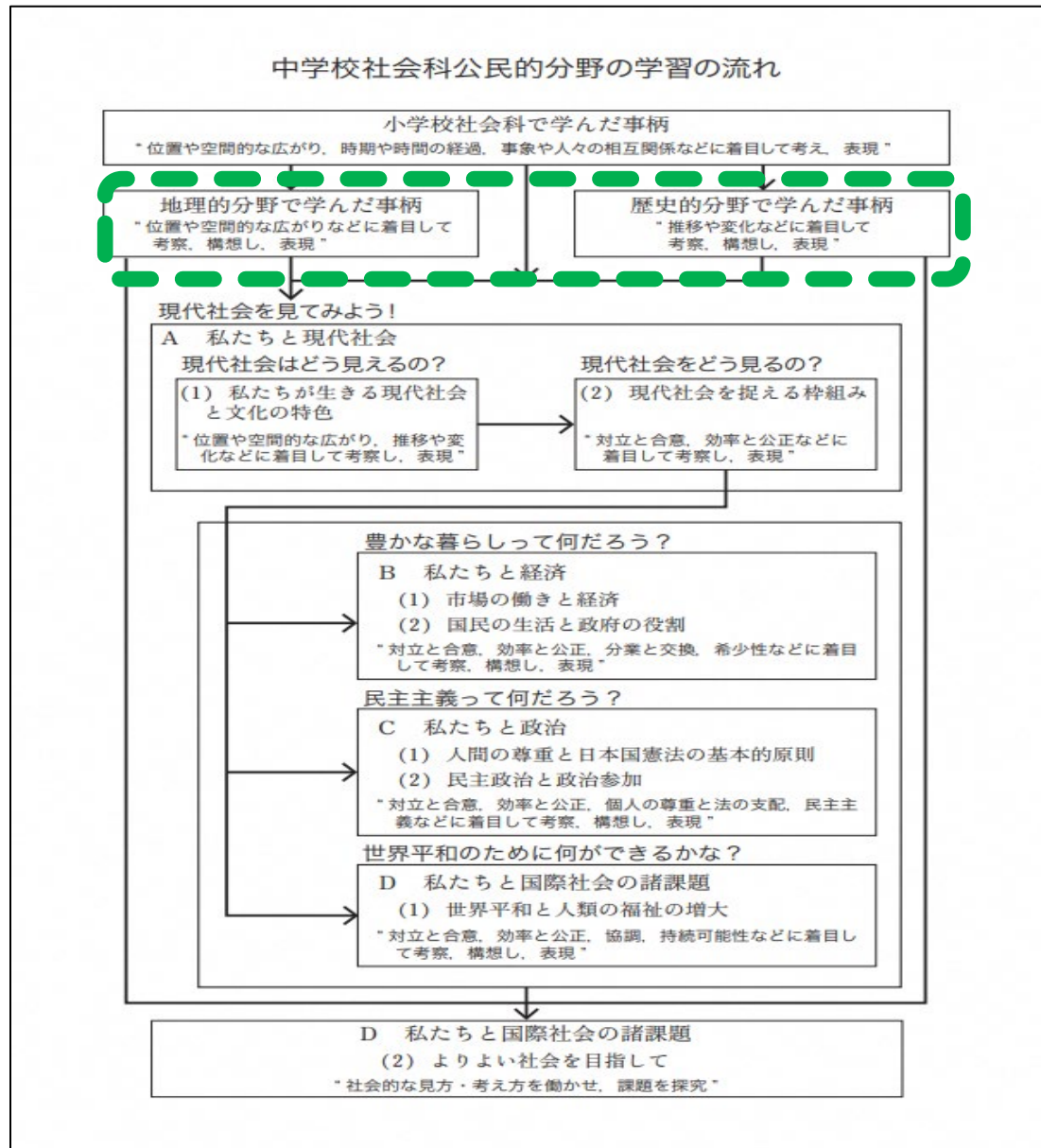
アンケートにおける肯定的回答の割合

令和3年度・令和4年度全国学力・学習状況調査 生徒質問紙結果との比較



今後に向けて

中学校学習指導要領（平成29年告示）社会科編解説より



学習プログラムの普及

- ▶ 令和4年2月12日（土）
- ▶ 「わくわく・どきどき SDGs ジュニアフォーラム」

- ▶ 令和4年10月28日（金）
- ▶ 「市町村教育委員会の指導主事を対象とした連絡会」

- ▶ 令和5年2月12日（日）
- ▶ 「わくわく・どきどき SDGs ジュニアフォーラム」



「社会参画意識の涵養」につながる取組みの推進